ＮＰＯ法人（特定非営利活動法人）
ペイ・フォワード倶楽部

NEWS LETTER

Vol.08
APRIL 2012

日頃はペイ・フォワード倶楽部の活動に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
このニュースレターは、ペイ・フォワード倶楽部の正会員・賛助会員・サポーター会員にご登録いただいた方にお配りしています。今年から年に1度ペイ・フォワード倶楽部の活動をご報告いたします。

初心を忘れず目標に向かって

日本中を桜前線が北上し、全国で桜の開花情報が聞かれます。生命の息吹を感じることのできる春は、一年で最も活気があり前に向かう勇気ややる気を引き起こす原動力となる季節だと思います。桜の花が咲くころになると、任意団体として立ち上げた頃の初心を思い出します。春夏秋冬がはっきりしている日本では、このように目標を立てやすい環境にあります。個人としてはもちろんですが、団体として大きな目標を掲げ実現に向けて動き出すには、とても良い季節だと言う事です。

設立以来、ドイツ国際平和村の子どもたちを支援してきた当団体に取りまして、昨年3月に起きました東日本大震災は、国内の子どもたちのための支援を考える大きなきっかけとなりました。ドイツに治療に行かなければならない子どもたちの事情と行ける幸せを考えたとき、ペイ・フォワード倶楽部としてできることがきっとあるはず！という強い思いが事務局スタッフの胸に湧き起ってまいりました。事務局での会議を重ねながら、遠くドイツで治療をしている子どもたちへ思いを馳せながら、『日本にも平和村を作ろう！』という意見がまとまってきだしたのです。もちろん団体としての力や作戦などは問題外でした。最初に「決断ありき」です。真剣に考えれば考えるほど、実現に向けての道は遠く思えることも現在もあります。しかしながら、ペイ・フォワード倶楽部の今までの歩みを振り返ったとき、順風満風だったことなどほとんどなく、いつもスタッフや周りの多くの方々の協力を頂きながら乗り切ってやってまいりました。

Pocket Jump実現に向けて

まさに今が、その季節（時）です。ペイ・フォワード倶楽部は活動の次のステップとして「Pocket Jump」の事業に取り組み始めています。事務局では「人災によって傷ついた世界の子どもたちを受け入れ心や体のリハビリを行う施設」の建設に向けて協議を重ねています。
※詳細につきましては、同封のパンフレットをご覧くださいませ。

2012年度は、今後の活動の重要な基礎づくりの年となります。「Pocket Jump」実現に向けては、資金や人材などまだまだ課題は山積みですが、関係各方面からの情報を収集しながら実現に向けて事務局一同、精一杯取り組んでまいります。
今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2012年4月
特定非営利活動法人
ペイ・フォワード倶楽部
理事長　田川純子

発行：特定非営利活動法人ペイ・フォワード倶楽部（大阪府吹田市千里山東2丁目27－3　TEL＆FAX06－6330－0281）

Friedensdorf International ドイツ国際平和村関連NEWS
NEWS・Pay-Forward Club・NEWS・ Vol 8

平和村便り

平和村からのメッセージ

今年の3月11日、ドイツ国際平和村のドイツ人スタッフや日本人研修生は、デュッセルドルフにある恵光寺での追悼式に参加しました。そして、東北地方にいらっしゃるドイツ国際平和村の友人の方々に情報を教えてもらい、ドイツの人々に日本の状況を伝えるため、ドイツ語ホームページにて発信しました。それは、「私たちは忘れていないという意思表示」でもあります。昨年は、日本と深い関係にあるドイツ国際平和村へも、多くのドイツ人住民からも問い合わせがありました。どこへ寄付するのがよいのか、何か手伝えることはないのか、チャリティイベントをしたいのだけどどうしたらいいのか、などドイツ住民の温かさ、連帯感に触れました。心痛む出来事がきっかけでしたが、このように支えあっていけること、結束力の温かさを感じました。まだまだ大変なことが多い日本だと思います。ドイツから見守っています。

ドイツ国際平和村は、現在私たちができる活動を地道に続けています。2011年、ドイツ国際平和村の支援により、治療のためにドイツへとやってきた子どもたちの数は約400人にのぼりました。そして、前年よりドイツでの治療を続けていた子どもたちも含め、約400人の子どもたちが治療を終え、元気に母国へと帰国することができました。過去数年同様、主な援助国はアフガニスタン、アンゴラ、コーカサス地方のアルメニアとグルジア、そして中央アジアのタジキスタンとウズベキスタンです。海外プロジェクト活動では、約130トンの援助物資を様々な国々へと届け、カンボジアでは15か所目の基礎健康診療所がその運営を開始しました。また、ウズベキスタンでは、2003年から支援している口唇口蓋裂症治療プロジェクトによって、2011年、159人の子どもたちの治療を現地で行うことができました。2008年から支援している整形外科プロジェクトでは172人の子どもたちが、2011年より新たに取り組み始めた外科手術のためのプロジェクトでは、4人の子どもたちが現地で治療を受けました。そして19回目となるパケット・アクションでは、基礎食品や冬用の衣料品の詰まったおよそ5，000箱のパケットがドイツ国際平和村へと寄せられ、タジキスタン、アルメニア、グルジアの支援を待つ人々の元に届けられました。

2012年もまた、アフガニスタン方面（コーカサス地方、中央アジアを含む）とアンゴラに重点を置き、4回の援助飛行を行う予定です。既に2012年2月には、アフガニスタン方面の援助飛行を無事に終えることができました。

2012年、ドイツ国際平和村は設立から45周年を迎えます。しかし、上記に挙げたような支援に関する様々な数字や、この45周年という事実を、私たちは祝うことはできません。なぜなら、こうした数字の背景には、病気や怪我に苦しみ、痛み、貧困、絶望の中に生きている子どもたち、そしてその家族の存在があるからです。多くの皆様のご支援無しにはドイツ国際平和村の人道援助活動は成り立ちません。皆様からのご支援が、私たちを励まし、勇気付け、活動を継続する力となり、さらに子どもたちや彼らの家族の希望や生きる喜びへと繋がっています。ドイツ国際平和村のスタッフを代表し、重ねて心より感謝申し上げますとともに、これからも子どもたちのため、皆様とともに歩んでいけますよう祈っております。

2012年3月吉日
FRIEDENSDORF INTERNATIONAL
ドイツ国際平和村
中岡麻記

ドイツ国際平和村訪問ツアー2011　報告

ドイツ国際平和村訪問ツアー参加者、山城現子さんからの訪問ツアー参加の感想です。

私は、「世界ウルルン滞在記」をみて初めて「ドイツ国際平和村」を知りました。いつか「ドイツ国際平和村」へ行きたいと思いながらも10年の月日が経ち今回、偶然にHPで見かけたドイツ国際平和村訪問ツアーに参加しました。訪問ツアーの体験を通して、実際に子ども達と触れ合い、セミナーやSTAFFの方々の話を聞かせていただき、私にはまだまだ知らない事が多くあることを感じました。平和村で出会った子ども達、そして母国の友達や家族の笑顔がずっと続くようにこれから、「ドイツ国際平和村」や「平和」についてのイベントを沖縄でも開催していきたいと思っています。

平和村の子どもと山城さん（親子）

2012年視察の予定

2012年はドイツ国際平和村へ、ペイ・フォワード倶楽部スタッフが視察に行ってきます。
今回の視察は、平和村の他にポーランドのアウシュビッツやウクライナのチェルノブイリを検討しています。視察報告はブログや次回のニュースレターで行います！！
お楽しみに☆

▲ドイツ国際平和村訪問ツアー2011より
（歯磨き指導の様子）

▲RuaHiroshima（ヒロシマ通り）にて

Special topics スペシャル トピック

NPO法人ペイ・フォワード倶楽部は、理事長田川純子が初めてドイツ国際平和村を訪問してから10年が経ちました。任意団体の設立は、2005年、NPO法人格を取得したのは2008年です。昨年からは、新しい事業「Pocket Jump」事業に取り掛かり、団体としても大きな飛躍の年を迎えています。そこで、これまでに当団体が取り組んだ活動の成果をご紹介致します。

【海外事業】

◆ドイツ国際平和村訪問ツアー

2007年から開始、日本で唯一、一般の参加者を募集しツアーを実施。これまでに、約40名の参加者の皆様と平和村を訪れました。

◆募金送金金額

ドイツ国際平和村送金回数21回（2005年～現在に至る）累計総額500万円超（2011年12月現在） 募金設置店全国に約160ヵ所

【国内事業】

◆平和啓発事業

□チャリティーコンサート(2005年～2010年　通算参加者数1,000名)

□講演会（講演会実績）

大阪府吹田市立片山小学平和教育講演会、大阪府吹田市立青山台小学校平和教育講演会、大阪府吹田市立山田東中学平和教育講演会
大阪府枚方市立中宮小学校平和教育講演会、国際基督教大学講演会、吹田市立千里山保育園平和の集い講演会、いずみそれいゆライオンズクラブ平和啓発講演会、山形県最上地区青年ボランティア会議平和教育講演会、㈱リコー講演会、ドイツ国際平和村専属カメラマンウリ・プロイス氏との協同講演会の開催、㈱イ―ジェットとの協同講演会、岐阜医大生ハンドボール大会にて平和村講演会、吹田市メイシアターでの平和啓発講演会

□セミナー（セミナー実績）

岡山県学生研修セミナー『知ってほしい世界の子どもたち』、千里山事務所にてドイツ国際平和村紹介セミナー2011年3月～10月（毎月実施）、セミナー実施都道府県名（沖縄県　福岡県　岡山県　兵庫県　大阪府　京都府　滋賀県　岐阜県　和歌山県　東京都　山形県）

□教材作成（ドイツ国際平和村訪問記 『Liebe－愛しい天使たちへ』） 枚方市立中宮小学校講演会DVD

□平和教育活動（チャリティー登山2008年、2009年））

□パネル展示

箕面活動センター、大津マルクト市、NPO法人とよなか市民活動ネットきずなの主催、吹田市市民活動センター、NPO法人吹田市民を活発にする会

□ニュースレターの発送（2005年～2011年　年2回配送 通算6,000部の配送）

◆地域活性化事業

＜泉南地域＞

□カフェの運営(Angel Village大阪府岸和田泉佐野店)

□カフェでのチャリティーコンサートの開催　子育て教室　クリスマスイベント　地域イベントへの参加

＜千里山地域＞

□千里山地域交流イベント(2005年～2010年　通算参加者数3,600名)

□近郊地域まちづくりイベントへの参加　□カフェの運営(Angel Village大阪府吹田市千里山店)

□イベント出店

箕面市：いきいき祭りへの出店、吹田市：千里山Rua Felizへの出店、千里山地域活性化事業2005年から「千里山 元気！ プロジェクト」の構成団体として活動、泉南市：泉南地域コミュニテイーイベント　フリーマーケットへの出店

□フリマショップ運営Angel Village千里山店

◆メディア等

・毎日新聞へ活動の掲載

講演会承ります！

＜講演のご依頼＞

平和啓発セミナーを開催しませんか。
ドイツ国際平和村の子どもたちから紛争や貧困で傷つく子どもたちについて考え、自分たちにできる行動を発見することを提案しています。

講師：田川純子（特定非営利活動法人ペイ・フォワード倶楽部理事長） 他当団体スタッフ

＜講演依頼に関して＞

氏名（ふりがな） メールアドレス、会社・団体名、住所、携帯番号を記載の上当団体までメールでご連絡をお願い致します。

＜講演後の成果＞

教育機関：講演後に生徒や保護者の皆様の呼びかけによって使用済み切手の回収活動に取り組んで頂けるようになりました。

企業・団体：ポスターやパンフレットの配置を通して市民に対する活動の呼びかけに協力を頂いています。

東日本大震災　被災地を訪問しました

東日本（福島視察）避難所を訪問し、1月13日～16日まで、東日本大震災の被災地域（福島県いわき市）を訪問してきました。
現在の支援体制の説明を受け、仮設住宅を訪問し支援物資や寄付金を届けたり、支援者の方との交流に参加しました。
今後は、食料品の放射能測定に対して募金などで支援ができるように取り組んでいきます。

▲仮設住宅へ湯たんぽを届けます。

Activity Report 活動報告

活動報告

August2011～
December2011

2011年下半期から団体は事務局の体制を整え除々に成長をしてきました。
昨年から新規事業として立ち上げた「Pocket　Jump」事業は内容が煮詰まりつつあります。

＜活動報告＞

【組織運営活動】

◆理事会：8月21日開催

◆事務局会議：毎月第3日曜日

【海外事業】

◆ドイツ国際平和村訪問ツアー：9月16日～17日

◆募金回収事業

【国内事業】

◆Pocket　Jump事業

フリマショップAngel Village：7月21日からリニューアルオープン

使用済み切手・インクジェット回収3月から継続して実施

「世界子ども村（仮称）」の設立会議月1回（毎月）

◆平和啓発事業

7月24日　第5回セミナー「ゲスト：吹田市議員神谷宗弊氏」

8月28日　第6回セミナー「ゲスト：スマイル会　吉田歯科　院長　吉田真一郎氏」

10月16日　第7回セミナー「今までのセミナーを振り返って」

11月6日　訪問ツアー報告　和歌山県

１１月１２日　訪問ツアー報告　滋賀県

11月5、6日　　吹田市万博記念公園ガーデンパーティー　ブース出展

◆地域活性化事業（「千里山元気！プロジェクト」構成団体として参加）

4月10日　　落語会　　10月23日　RuaFeliz

12月4日　レシピコンテスト　　12月中旬　イルミネーション

◆広報事業

パンフレットリニューアル　　ホームページリニューアル

泉南地区の活法報告

◎平成23年泉南地域活動報告

・毎月第4木曜日　絵手紙作成

・毎月第2木曜日　ヤングママ手編教室

・毎月第2火曜日　親子で絵本読み聞かせ

・平成23年12月11日（日）　イオンレシートキャンペーン参加

・平成24年1月29日（日）

夕方からアコースティックギターリストのわたなべゆうさんをお迎えして、チャリティーコンサートを初めて岸和田で開催できました。これからも、地域での楽しいイベントを通して皆様にペイ・フォワード倶楽部の活動を伝えていきたいと願っています。

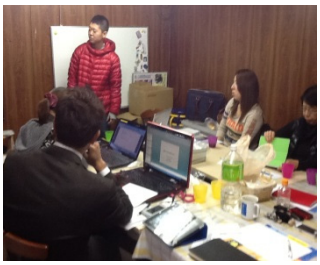
2012年 活動予定

【組織運営活動】

◆総会　３月２５日

◆理事会　３月４日
３月２５日（総会後）

◆事務局　毎月第３日曜日



【海外事業】

◆ドイツ国際平和村視察（6月10日～17日を予定）

◆募金回収事業：回収時期4月を予定

【国内事業】

◆平和啓発事業

1月21日　訪問ツアー報告　沖縄県

2月25日　枚方市立中宮小学校講演会

3月18日　Make a Smile　平和を伝えよう子どもたちへ　講演会

5月　　枚方市　家具販売店でのパネル展示

6月21日　お弁当の日講演会

◆地域活性化事業

千里山地域（「千里山元気！プロジェクト」構成団体として参加）

10月　RuaFeliz

12月　イルミネーション

エンジェル・ビレッジ通信

フリーマーケットショップ Angel Village
掘り出し物を発見しませんか？

Angel Villageにボランティアとして御協力頂いている皆様、物品を提供して頂いている皆様
いつもありがとうございます。

昨年夏、7月21日にAngel Village千里山店がカフェからフリーマーケットショップに生まれ変わりました。
リニューアルオープンから8カ月が経過し地域の皆様や会員の皆様に愛されています。
Angel Villageを利用される方々に「日本の子どもたちのケアハウス設立の為の建設資金になります。」
というペイ・フォワード倶楽部の新しい事業目標を話すことで、皆様から温かいご支援・ご協力を頂いています。
こうした、地道な活動が実を結び、最近では口コミの輪が広がってきたり、大勢のお客様にお越し頂いています。
今後ともフリーマーケットショップAngel Villageを宜しくお願い致します。

お得情報

ポイントカードができました！！

★お客様へポイントで還元★
300円で1ポイントがつきます
30ポイントたまると300円の
割引カードとして
利用することができます！！

【Angel Village】
■住所/大阪府吹田市千里山東2丁目27-3　■TEL/06-6330-0281
■営業時間/11:00～16:00　■営業日/木曜日～日曜日

Angel Village
www.pay-forward.org

NPO法人（特定日非営利活動法人）
ペイ・フォワード倶楽部 会員募集中！

私たちと一緒に活動しませんか？

【会費自動引き落としのお知らせ】
当団体では、認定NPO法人の取得に向けた取り組みを行っています。そこで、今年度は、会費の自動引き落としの認定審査を受け、来年度から実施する予定となっております。皆様のご理解とご協力宜しくお願い申し上げます。

ペイ・フォワード倶楽部は認定NPO法人の取得を目指して活動を展開しています。

正会員
年会費　10,000円
●年一度の総会への参加権・議決権があります
●企画や運営への参加・発言権があります
●役員会・運営委員会に参加できます
●年二回ニュースレターをお送りします

賛助会員
年会費　3,000円（1口）
●企画や運営などに参加できます
●年二回ニュースレターをお送りします

サポーター会員
年会費　1,000円
●イベントなどのお手伝い
●年二回ニュースレターをお送りします

※会費につきましては、経費を除く全てを支援金とさせていただきます。

住所・氏名・電話番号・メールアドレス・希望会員（正会員・賛助会員・サポーター会員）を明記の上、
e-mail: info@pay-forward.org まで申し込みください。

Pocket Jump ポケットジャンプ事業

ペイ・フォワード倶楽部の新たな事業目標　「Pocket Jump」

事業目的

「人災によって傷ついた世界中の子どもたちを受け入れ
心や身体のリハビリを行う施設の建設・運営」を目的とします。

名前の由来

2011年3月11日に起きた、東日本大震災をきっかけに国内事業を立ち上げました。事業名の「Pocket Jump」は、子どもたちの服についているポケットから夢や希望が元気よく飛び出し、未来を作れますように！との願いからつけました。

事業内容

１、支援を必要としている日本国内の子どもたちの施設（仮称：世界子ども村）建設・運営
２、フリマショップ運営（寄付で頂いた商品の販売）
３、回収事業（使用済み切手・インクジェット・募金）

世界子ども村建設・運営に向けての取組

現在から3年計画で施設建設場所の決定・着工予定としています。月に1度世界子ども村建設に向けた企画を決める、運営会議を行いスタッフのプレゼンテーションを通して企画を煮詰めています。
この会議を通して、目指す方向がより具体的になってきており、多方面から施設建設に関する情報を頂いています。